

【3-25】

湾・灘の区分	播磨灘、備讃瀬戸、備後灘（香川県海域）
取組の名称	マイクロプラスチック調査研究
事業期間	事業期間：平成 30 年度～（3 年程度）
事業体制	香川県環境管理課 香川県環境保健研究センター
事業の背景・目的	マイクロプラスチックの問題について、実態・課題を可視化し、海ごみの発生抑制～県民の環境保全活動の活性化につなげる。
事業場所の詳細	香川県内 ●県民参加型モニタリング調査 H30：湊川、春日川、金倉川 R01：鴨部川、香東川、高瀬川 R02：新川、土器川、財田川（予定） ※県を東部、中部、西部に分けて、毎年、各地域から 1 河川ずつ選定。 ●環境保健研究センター調査 環境保健研究センター所在地（高松市朝日町 5-3-105）
事業内容	●県民参加型モニタリング調査 ・流量が多い河川を中心に、3年程度をかけて、毎年3河川ずつ調査する。 ・参加者を募集し、各河川の上流、中流、下流、河口近くの海岸で、各地点で約20分間、プラスチックごみを拾い、ごみの種類、大きさ、重量を計測するとともに劣化度合を記録する。  ●環境保健研究センターによる調査 ・ポリエチレン製とポリプロピレン製のシートを試験材料として、太陽光への直接暴露や紫外線ランプによる劣化促進試験を実施。 ・どういった要因や環境下でプラスチックが崩壊するのか、どのぐらいの速度で崩壊するのかなどを調査する。 
取組による効果・影響及びその判断基準等	調査結果を分かりやすい形で県民にフィードバックすることにより、海ごみ対策の普及啓発を行う。
現状での課題	調査結果の有効な活用。
今後の予定等	引き続き実施する。
取組事例についての発表資料等	瀬戸内海環境保全小委員会（第 15 回）資料
情報提供元	香川県環境森林部環境管理課